

3 ハ 係留施設、水域施設、陸上施設、その他輸送施設の概要

1、係留施設の概要

起 終 点 等	港	港	港
施設の種類 接岸可能数 長さ、幅 天端高 ピット 防舷物	× 柱型	× 柱型	× 柱型
対象船舶が最高潮時及び最低潮時に安全に係留できること、ピット強度及び配置等により安全に係留できること及び防舷物構造及び位置等が適切であり、潮高変化に対して有効であることについては、別添説明及び別添資料の通り。			

2、水域施設の概要

起 終 点 等	港	港	港	経路
危険物取扱バース等の有無	有・無 (港湾平面図は別添資料の通り。)	有・無 (港湾平面図は別添資料の通り。)	有・無 (港湾平面図は別添資料の通り。)	—
使用予定水域の水深 (最干潮時における水深)	— (使用港湾の水深図は別添資料の通り。)	— (使用港湾の水深図は別添資料の通り。)	— (使用港湾の水深図は別添資料の通り。)	— (経路の水深図は別添資料の通り。)
港内操船図	別添資料の通り。	別添資料の通り。	別添資料の通り。	—
橋等がある場合の高さ(通航経路の最満潮時の水線面上から橋等の最下部間)	別添資料の通り。	別添資料の通り。	別添資料の通り。	— (経路上に橋等がある場合は海図に記して添付。)
気象・海象情報の収集・伝達体制及び荒天時における曳船の使用基準				
別添資料の通り。				
使用予定水域の水深が対象船舶の最大喫水に対し十分な余裕水深があること、港内操船のために使用する水域において回頭、離着岸が安全にできること及び使用予定水域において橋等の下を安全に通航できることについては、別添説明及び別添資料の通り。				

3、陸上施設の概要

起 終 点 等	港	港	港
待合場所 駐車施設 照明施設	有( )・無 有( )・無 有・無	有( )・無 有( )・無 有・無	有( )・無 有( )・無 有・無
旅客と車両の経路について、交叉の有無及び「有」の場合の安全対策	有・無 (「有」の場合は対策を記載。)	有・無 (「有」の場合は対策を記載。)	有・無 (「有」の場合は対策を記載。)
旅客乗降施設	タラップ・斜路・その他( ) を使用 施設の構造、位置、接合状況等は別添資料の通り。	タラップ・斜路・その他( ) を使用 施設の構造、位置、接合状況等は別添資料の通り。	タラップ・斜路・その他( ) を使用 施設の構造、位置、接合状況等は別添資料の通り。
車両乗降施設	ランプウェイ・斜岸・その他( ) を使用 施設の構造、位置、可動橋等との接合状況等は別添資料の通り。	ランプウェイ・斜岸・その他( ) を使用 施設の構造、位置、可動橋等との接合状況等は別添資料の通り。	ランプウェイ・斜岸・その他( ) を使用 施設の構造、位置、可動橋等との接合状況等は別添資料の通り。
係留施設の使用形式	県(市・町)港湾(漁港)管理者又は〇〇から借用	県(市・町)港湾(漁港)管理者又は〇〇から借用	県(市・町)港湾(漁港)管理者又は〇〇から借用
陸上施設等の使用形式	県(市・町)港湾(漁港)管理者又は〇〇から借用	県(市・町)港湾(漁港)管理者又は〇〇から借用	県(市・町)港湾(漁港)管理者又は〇〇から借用
旅客・車両乗降施設が安全に乗降できるかについては、別添説明及び別添資料の通り。			

4、その他の輸送施設(使用旅客船を除く)の概要

その他の輸送施設があれば、その概要及びその安全性	
有・無	(「有」の場合は別添説明及び別添資料の通り。)